

Diario en México

Abril de 2019

メキシコ生粋のリゾート地、カンクン。

いよいよ日本でも新年度が始まり、ついに新しい元号の名前が発表されましたね！友人と発表の瞬間を見ていましたが「令和」だとわかった時、その響きと込められた願いに新しい時代の幕開けを感じて胸が躍りました。貴重な歴史的瞬間に日本にいなかったのは残念ですが、4ヶ月後「令和」になった日本に帰るのが楽しみです。

さて、前回のレポートではグアナファト研修について書きました。グアナファトについてはもちろん、広島県と密接につながっていることを少しでも感じてくれたら幸いです。話は変わりますが、先日家族がメキシコに旅行に来てくれたので、少しシティから遠出してみました。そこで行ってきた世界的にも有名なリゾート地、カンクンについて書いていこうと思います。

圧倒的透明度のセノーテ！



石灰質の土地が陥没し、その穴に何百万年もの長い時間をかけて地下水が溜まったのがセノーテです。マヤ語で「聖なる泉」とあるように、古代から神聖なものとして扱われてきました。カンクンがあるユカタン半島には推定 7000 ものセノーテがあるとされています。写真のセノーテは「グラン・セノーテ」と呼ばれる泉です。写真からも分かる通り、透明度が非常に高く、水の深さも一目でわかり、カメや魚も泳いでいました。神秘的な青色にも引き込まれました…。



◀こちらは「イキル・セノーテ」。何 m にも及ぶ蔦が印象的でした。年に 1 回レッドブル主催のダイビング大会が行われているそうです。

世界最大のマヤ文明遺跡・チチェン・イツツァ



カンクンといえばチチェン・イツツァ！1988 年に世界遺産に登録されたこの遺跡は、マヤ文明を代表する貴重な記憶の場所になっています。写真は「エル・カステージョ」。スペイン語で「お城」という意味ですがその名の通り、チチェン・イツツァの顔になっています。

またこのピラミッドが巨大なカレンダーになっており、4 方向の階段それぞれ 91 段と、神殿へのぼる 1 段を合わせると 365 段あり、太陽暦の 1 年間を表していることになっています。右側に小さく写っているのは蛇の頭。マヤ神話の創造神とされるククルカンが配されています。当時の文明の高度さと建築技術の強度さを肌で感じました。



人生で初めて見たカリブ海、言葉では言い表せないほど美しかったです。コバルトブルーのグラデーションの海はずっと見ても飽きず、今抱えている悩みがどうしてもよくなりました。このような素敵な体験ができたのは家族のおかげです。久しぶりに会って色んな話をしましたが、今メキシコで勉強ができるのは支えてくれる両親のおかげだと改めて感じました。残りの留学生活も4ヶ月を切りましたが、両親への感謝の気持ちを忘れずにしっかりと努力していきたいと思います。

おまけ



ユカタン半島には野生のイグアナがたくさんいます。話を聞くとところによると場所によってはまだ食べている地域もあるのだとか。血には栄養がたっぷりあるらしく、栄養補給のために飲むのだそうです。なんだか人間慣れしている感じがあって可愛らしかったです。